

## 公 告

下記により入札を実施するので、入札及び契約心得を熟知の上、参加されたい。

- 1 入札方式 一般競争入札（総合評価落札方式）
- 2 入札に付する事項

件 名	規 格	数 量	納 地	履行期間	摘 要
情報本部共通基盤の整備に係る調査研究（その3）	仕様書のとおり	1式	情報本部（市ヶ谷）	契約日 ～ 令和7年 3月31日	

- 3 入札等
  - ① 入札説明書の交付場所等  
防衛省情報本部総務部会計課会計班契約係 E2棟3F
  - ② 入札説明会の日時及び予定場所  
なし
  - ③ 入札書及び入札に必要な書類の提出期限
    - ア 入札書  
令和4年9月26日（月）
    - イ 業務従事者リスト及び履歴資料  
令和4年8月26日（金）（10時00分）
    - ウ 非公知の情報の取扱いに関する資料  
令和4年8月26日（金）（10時00分）
    - エ 提案資料  
令和4年8月26日（金）（10時00分）
  - ④ 入札の日時及び場所  
令和4年9月26日（月）13時30分  
場所：内局入札室 E2棟3F

- 4 参加資格
  - ① 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
  - ② 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
  - ③ 令和4・5・6年度防衛省競争参加資格（全省庁統一資格）の有資格者で「役務の提供等」の「A」、「B」又は「C」等級に格付されている者であること。
  - ④ 契約担当官等（他省庁含む）から指名停止等の措置を受けている期間中の者（以下「指名停止期間中の者」という。）でないこと。
  - ⑤ 「会社更生法（平成14年法律第154号）」による更生手続開始又は、「民事再生法（平成11年法律第225号）」による再生手続開始を申し立てられ

ていない者、ただし更生手続開始の決定又は、再生手続開始の決定を受けた者で、以下の(1)～(3)の書類をすべて提出した者を除く。

- (1) 更生手続開始決定書又は再生手続開始決定書(コピー可)
  - (2) 許可決定に伴い定款、役員等に変更等があった場合にはそれを証明する書類(コピー可)
  - (3) 上記(2)に伴う競争参加資格審査申請書変更届
- ⑥ 前号により、現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、該当者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
  - ⑦ 都道府県警察から、暴力団関係業者として排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者でないこと。
  - ⑧ 指名停止期間中の者にこの契約の全部又は一部を請け負わせる場合は、支出負担行為担当官等の確認を受けている者であること。
  - ⑨ 入札説明書の交付を受けた者であること。

## 5 入札方法

入札金額は、「情報本部共通基盤の整備に係る調査研究(その3)」に関する総価で行う。

なお、本件については提案書提出期限までに提案書を提出し、審査を受けなければならない。落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、各入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の100/110に相当する金額を入札書に記載すること。

## 6 保証金

- ① 入札保証金 免除
- ② 契約保証金 免除

## 7 入札の無効

- ① 4の参加資格のない者のした入札、入札に関する条件に反した入札又は入札後契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係業者として排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者のした入札は無効とする。
- ② 入札者等が誓約した「誓約事項」若しくは「誓約書」による誓約に虚偽があった場合又は誓約に反する事態が生じた場合は、当該入札者等が提出した入札書等を無効とするものとする。

## 8 契約書作成の必要の有無 有

## 9 契約をしようとする基本契約条項等

調査研究契約特別条項

談合等の不正行為に関する特約条項

暴力団排除に関する特約条項

情報システムの調達に係るサプライチェーン・リスク対応に関する特約条項

装備品等及び役務の調達における情報セキュリティの確保に関する特約条項

部分払に関する特約条項

秘密の保全に関する特約条項

秘密等の保全又は保護の確保に関する違約金条項

資料の信頼性確保及び制度調査の実施に関する特約条項

- 10 落札者が正当な理由なく契約を結ばない場合には、落札金額の100分の5以上の金額を違約金として現金徴収する。

## 11 その他

- ① 入札及び契約手続に使用する言語及び通貨  
日本語及び日本国通貨
- ② 端数処理  
入札書に記載された金額の110/100に相当する金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとし、当該端数金額を切り捨てた後に得られる金額をもって、申し込みがあったものとする。
- ③ 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めないものとする。ただし、下請負を行うことが真にやむを得ないと認められる場合には、この限りではない。
- ④ 提出資料
  - (1) 防衛省競争参加資格（全省庁統一資格）の資格審査結果通知書の写しを「業務従事者リスト及び履歴資料」及び「非公知の情報の取扱いに関する資料」の提出期限までに提出するものとする。
  - (2) 指名停止期間中の者にこの契約の全部又は一部を請け負わせる場合は、下請負確認申請書を④(1)の提出期限までに提出するものとする。
- ⑤ 入札者の義務  
この調達に参加を希望する者は、情報本部が交付する仕様書に基づいて提案書を作成し、提案書の提出期限内に提出しなければならない。また、提出期限を過ぎてからの当該書類の差替え、再提出は認めない。ただし、開札日の前日までの間において支出負担行為担当官等から当該書類に関して説明又は追加資料を求められた場合は、これに応じなければならない。なお、入札者の作成した提案書は情報本部において審査するものとし、採用し得ると判断した提案書提出者の入札書のみを落札決定の対象とする。
- ⑥ 落札者の決定方法  
予算決算及び会計令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で、支出負担行為担当官等が入札説明書で指定する要求事項のうち、必須とした項目の最低限の要求を全て満たしている提案をした入札者の中から、支出負担行為担当官等が定める総合評価の方法をもって落札者を定めるものとする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、総合評価点が最も高い者を落札者とすることがある。
- ⑦ 入札結果の公表  
総合評価落札方式で行った一般競争については、落札者と入札者のそれぞれの商号又は名称、入札価格、技術点の合計及び総合評価得点を、契約締結後速やかに情報本部のホームページで公表するものとする。
- ⑧ 詳細は入札説明書による。
- ⑨ 本書記載事項については防衛省情報本部総務部会計課会計班契約係に照会のこと。

住 所 〒162-8870

東京都新宿区市谷本村町5-1 E2棟3F  
防衛省情報本部総務部会計課会計班契約係

T E L 03-3268-3111（内線）31754